



# 那須町と 近現代の人々

vol.02



大越軍三  
(1894-1974)

2月号と3月号は寄居地区の出身で、多方面に活躍した松本兄弟を紹介します。松本家は、江戸時代黒羽藩の寄居西組の名主を務めた家柄です。松本兄弟の父、松本延太は第4代芦野町長や石材商を務めた人物で、明治から昭和初期にかけて活躍しました。

延太の息子は7人いますが今回は、誠次・軍三・鎗吉・敏雄の4人を取り上げます。

松本誠次は、白河市で東北毎日新聞を創刊した人物です。明治24年に生まれ、現在の大田原高校を卒業後、しばらくは父延太が経営する石材店を手伝いながら「萬有」と号して小説や詩など文学的活動を行いました。大正9年に東北毎日新聞を創刊すると、この新聞は白河地方で戦前を代表する新聞となりました。しかし誠次自身は大正14年に若く

して亡くなりました。

大越軍三(旧姓松本)は、実業家・政治家として活躍した人物です。明治27年に生まれ、現大田原高校・東京外国語大学を卒業後、大越家へ養子に入り、朝日新聞政治部記者として活躍しました。兄誠次が亡くなると白河に移り、東北毎日新聞の社長を引き継いでいます。また政界にも進出し、福島県会議員を5期、第14代白坂村長・東京都三鷹市議会議員・三鷹市商工会長を歴任しました。



松本鎗吉  
(1897-?)

松本鎗吉は、現在の毎日新聞の記者・論説委員であり、中国通ジャーナリストとして戦中に活躍しました。明治29年に生まれ、兄たち同様に現在の大田原高校を卒業後、当時の大阪毎日新聞に入社しています。大正10年、同社特派員として中国に派遣されてき

た芥川龍之介を、北京で接待しており、その様子は芥川の著書「北京日記抄」で読むことができます。また、芥川から鎗吉宛ての手紙も確認されており、芥川龍之介全集に収録されています。

松本敏雄は、現在の千葉県立中学校・高等学校で教員として活躍したことが分かっています。

多方面で活躍した松本兄弟次回は、武雄・文雄・守雄を紹介しします。

※三鷹市議会事務局より資料提供をいただきました。お礼申し上げます。

## 問合せ

那須歴史探訪館  
☎(74)7007



町内の各小学校が毎年実施するスキー教室。町が目指す子ども像の一つ、「滑れる子」を目標に、保護者や地域の方の協力を得て行っている▼小学生の頃にスキーを体験できるのは当たり前ではない。実感したのは大學生になった時だった▼友人10人で長野県へスキー旅行をした。スキー経験者は半数で、出身地

## こんにちは 赤ちゃん



令和3年2月12日生  
父 翔太さん  
母 麻希さん

祐生くんは…  
毎日2人のお兄ちゃんが僕を笑わせようと競っています^\_^

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。  
詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

は北海道、石川県、富山県、岐阜県、そして栃木県。西日本出身のほとんどの友人たちにとっては初めてのスキーだった▼冬は雪が降り積もり、町内のスキー場でスキー教室。小学生の頃は当たり前だと思っていたが、豊かな自然に恵まれた町の魅力に、町を離れて気付いた。ふるさととの町がとても誇らしかった▼1月14日、町は、静岡県下田市と御用邸所在地友好都市協定を締結した。神奈川県葉山町と

共に3市町で友好を深めていく。交流し、互いの市町を知れば、改めて自分の住む町の良さにも気付けるのではないかと感じた▼初めてスキーを習った場所、那須温泉ファミリースキー場の「営業が3月末で休止になる。理由は近年の雪不足、施設維持経費の増加、スキーヤーの減少など。今後は跡地の活用方法を検討する。冬の誘客促進のみならず、町の魅力が詰まった観光拠点となることを期待している。

## 町の世帯と人口

(1月1日現在・住民基本台帳) ( )の数字は前月比

|      |                 |     |           |
|------|-----------------|-----|-----------|
| ●世帯数 | 10,505世帯 (-9)   | 出生  | 6人 (-4)   |
| ●人口  | 24,538人 (-35)   | 死亡  | 35人 (-8)  |
|      |                 | 転入  | 47人 (-34) |
|      |                 | 転出  | 52人 (-18) |
|      |                 | その他 | 1人        |
|      | 男 12,209人 (-10) |     |           |
|      | 女 12,329人 (-25) |     |           |